

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成25年1月24日(2013.1.24)

【公表番号】特表2012-514280(P2012-514280A)

【公表日】平成24年6月21日(2012.6.21)

【年通号数】公開・登録公報2012-024

【出願番号】特願2011-542698(P2011-542698)

【国際特許分類】

G 11 B 7/24047 (2013.01)

G 11 B 7/2534 (2013.01)

G 11 B 7/2533 (2013.01)

【F I】

G 11 B 7/24 5 3 1 Z

G 11 B 7/24 5 2 6 G

G 11 B 7/24 5 2 6 R

【手続補正書】

【提出日】平成24年12月3日(2012.12.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ディスクの破損に起因する故障を伴うことなく、24000 RPMの条件下での高速回転試験に少なくとも30分間耐えることができると共に、85%よりも高いピット/グルーブ構造の転写率を示す光ディスク用基板を製造するためのポリカーボネートの使用方法。

【請求項2】

ポリカーボネートが1.210～1.285の相対溶液粘度を有する請求項1に記載の方法。

【請求項3】

ポリカーボネートが、2000 ppm未満の離型剤を含有する請求項1に記載の方法。

【請求項4】

離型剤がグリセリンモノステアレートまたはグリセリンモノパルミテート、あるいはこれらの混合物である請求項3に記載の方法。

【請求項5】

転写率が90%よりも高い請求項1に記載の方法。

【請求項6】

ディスクの破損に起因する故障を伴うことなく、スピニスタンド上での24000 RPMの条件下に少なくとも30分間耐えることができ、1.210～1.285の相対溶液粘度を有するポリカーボネート製の光媒体用基板。

【請求項7】

ポリカーボネートがビスフェノールAに基づく請求項6に記載の基板。

【請求項8】

請求項6に記載の基板から製造される光媒体。